

第22回名古屋大学人文学研究科言語学分野 公開講演会

主催：名古屋大学大学院人文学研究科言語学分野

共催：名古屋大学大学院人文学研究科日本語教育学分野・英語学分野

後援：人文学研究科で言語を研究する院生のための最先端研究紹介・キャリア形成支援プロジェクト

言語研究の実践的応用と新展開の探り方： 認知類型論、移動、変化、句動詞とプログラミング！？

講師：ライアン・スプリング先生（東北大学准教授）

Talmy（1985）が事象合成による認知類型化を提案してから、移動表現に関する研究が数多く実施されてきた。しかし、事象合成は移動表現で終わらず、状態変化やアスペクトなどの表現にも関わっている。本講演では、移動表現が認知言語学の分野で何故注目を集めているかを述べ、状態変化や他の表現との類似点を説明する。また、講演者が自分の研究を英語教育や他分野に応用した事例を紹介しながら、言語学研究者がどのように新しい研究の展開の中に自分の研究のシーズを見つけ、実践的・応用的に他分野に貢献できるのかを提言する。

日時：2022年11月18日（金）午後1時～2時半

オンライン（Zoom） ＊講演は日本語で行われます。

<https://us02web.zoom.us/j/84047300568?pwd=SHh6eCtteklMcnd5Q1k5a21>

PeUR1UT09 ミーティングID: 840 4730 0568 パスコード: 97GCWg

参加費無料・事前申し込み不要 当日 Zoom の定員まで先着順で受け付けます。

受付は12時45分ごろから始めます。

問い合わせ：堀江薫 <horie AT nagoya-u.jp>